

第23回自然史博物館まつりの開催について

倉敷市民をはじめ多くの方々にお越しいただき、自然史博物館をより広くより良く知っていただく機会とするため、自然史博物館の開館記念日の11月3日から4日、5日の3日間で「自然史博物館まつり」を開催します。

1 会 期

令和5年11月3日（金・祝）・4日（土）・5日（日）

2 開催場所

倉敷市立自然史博物館、倉敷市観光休憩所

3 観 覧 料

会期中の観覧料は無料

4 主なイベント

(1) 11月3日（金・祝）

9:00～16:00 倉敷昆虫館のお宝展

9:30～16:00 いもむしランドで昆虫と遊ぼう！

(2) 11月4日（土）

10:00～、11:00～、13:00～、14:00～、15:00～（各50分）

自然の素材を使った手作り教室

9:00～12:00 化石さがし

(3) 11月5日（日）

10:00～、11:00～、13:00～、14:00～、15:00～（各30分）

ギター・マンドリン演奏会

9:10～10:00 自然史博物館秘蔵お宝クイズ大会

※詳細は、当館ホームページをご参照ください。

5 共 催

倉敷市立自然史博物館友の会

6 協 力

岡山大学工学部環境マネジメントコース応用生態学研究室

岡山理科大学恐竜学博物館、倉敷芸術科学大学生命科学科

岡山大学ギターマンドリンクラブ、倉敷昆虫館、重井薬用植物園

蒜山自然再生協議会、倉敷市環境政策課、倉敷環境学習センター

7 周知方法

広報くらしき10月号、当館ホームページ、ポスター・チラシ、SNS
パワフルキッズなど

開館40周年記念

Special

みて！ふれて！つくって！楽しむ3日間

第23回

自然史博物館

まつり

2023年

11月

3

(金・祝)

4

(土)

5

(日)

入場無料

一部イベントは
要材料費

いもむしランドで昆虫と遊ぼう！

化石さがし

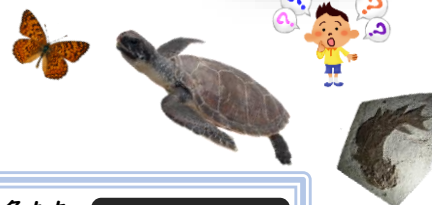
ギター・マンドリン演奏会

自然史博物館秘蔵お宝クイズ大会

※学芸員による！



セズジヒトリの幼虫 ▲
今年はどんな昆虫に会えるかな？



- ・倉敷昆虫館のお宝展
- ・倉敷芸術科学大学「くらしきの魚たち」
- ・海ゴミ・地球温暖化のことを知ろう！
- ・モンゴル恐竜化石発掘パネル展
- ・岡山大学「倉敷で見られる水生動物」
- ・オリジナル缶バッジを作ろう！
- ・蒜山の草原においてよ！山焼き草原のパネル展示
- ・他にも様々なイベント、プレゼントなどお楽しみがもりだくさん

詳細は特設ページ
をチェック ▼



など



倉敷市立自然史博物館のあゆみ

収蔵のあゆみ

昭和53年 8月18日 倉敷市庁舎等跡地利用協議会設置

昭和53年 宇野確雄コレクション（植物）約5万点
教育委員会へ寄贈

昭和55年 3月13日 倉敷市庁舎等跡地利用協議会より、倉敷市庁舎等は「新しい文化施設を創設する気構えで、積極的に取り組む必要がある」との答申が出される

昭和56年 2月3日 倉敷市議会旧倉敷市庁舎跡地利用並びに周辺開発特別委員会設置

昭和57年 3月2日 旧水道局庁舎を自然史博物館として改造することが、倉敷市議会旧倉敷市庁舎跡地利用並びに周辺開発特別委員会で確定

昭和57年 10月1日 自然史博物館基本構想並びに展示基本構想の策定を学識経験者に委託

昭和57年 10月19日 自然史博物館基本構想確定

昭和57年 11月27日 自然史博物館展示構想確定

倉敷市立自然史博物館 開館

昭和58年 11月3日 第1回 自然観察会「タンポポを見て歩こう」開催



改装中の自然史博物館建物

平成4年 1月26日 倉敷市立自然史博物館友の会発足

平成6年 3月27日 開館10周年記念 建物1階増設並びに改装工事完成



開館10周年記念式典の様子

動くナウマンゾウ母子模型設置

博物館法第12条の規定による登録博物館

平成10年 累計入館者数50万人を突破

「自然史博物館まつり」（初回）開催
第2展示室展示更新完成



初回自然史博物館まつり

平成16年 3月20日 第3展示室展示更新完成

平成17年 3月20日 第4展示室展示更新完成

平成18年 3月21日 第1展示室展示更新完成

平成18年 4月1日 高校生以下を無料にするなど観覧料を一部改訂



リニューアルした第1展示室

平成22年 累計入館者数100万人を突破



自然観察会（平成15年）

平成24年 倉敷市立自然史博物館友の会が「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰（自然ふれあい部門）受賞

平成31年（令和元年） 累計入館者数150万人を突破



「秘蔵お宝展」開催

令和5年7月15日 開館40周年記念特別展「倉敷市立自然史博物館秘蔵お宝展」開催

昭和53年 宇野確雄コレクション（植物）約5万点
教育委員会へ寄贈

昭和58年 溝辺茂喜コレクション（昆虫）約1万5千点収蔵

昭和59年 収蔵点数が10万点を超える

平成元年 山本慶一コレクション（化石）約千点収蔵



山本コレクションのナウマンゾウなどの化石

平成11年 平田信夫コレクション（昆虫）約3万点収蔵

平成15年 大久保一治コレクション（植物）約4万7千点収蔵

平成18年 収蔵点数が50万点を超える

平成27年 林原コレクション（化石等）約340点収蔵



ティラノサウルス全身骨格

令和4年 畠田和一コレクション（貝類）約2万4千点収蔵

令和4年 収蔵点数が100万点を超える

令和4年 ニタリクジラの骨格標本を収蔵



ニタリクジラ全身骨格